

Veeam Availability Suite v11: 設定と管理

期間: 3日間

理論/ラボ: 60/40

概要

「Veeam® Availability Suite™ v11: 設定と管理」は、技術面を詳細に分析する3日間のトレーニングコースで、Veeam Availability Suite v11ソリューションを設定、管理、およびサポートするスキルをITプロフェッショナルに習得いただくことに重点を置いています。このクラスを受講すると、広範囲におよぶハンズオンラボにより、変化する技術環境およびビジネス環境において管理者とエンジニアが効果的にデータを管理し、デジタル世界のビジネスに目に見える利益をもたらすことが可能になります。

このコースはVeeam Availability Suite v11をベースとしています。

対象者

このコースは、Veeam Availability Suite v11環境の設定、管理、またはサポートに対して責任のある方を対象としています。

前提条件

受講者は、サーバー、ストレージ、ネットワーク、および仮想化の確かな知識を備えた、経験のあるプロフェッショナルであることが前提となります。

Veeam/パートナー様は、このクラスを受講する前に、[ProPartner Web](#)サイトでVeeamセールスプロフェッショナル (VMSP) およびVeeamテクニカルセールス・プロフェッショナル (VMTSP) 資格認定を受けておくことをお勧めします。Veeamのお客様は、www.veeam.com/jpで無料のVeeam Availability Suiteオンデマンドトレーニングを修了しておくことにより理解が深まります。

資格認定

このコースを修了すると、2021年Veeam認定エンジニア (VMCE) 試験の受験資格を得ることができます。

目的

このクラスを修了すると、受講者は以下が可能になります。

- Veeam Availability Suiteコンポーネントの使用シナリオ、および使用する環境との関連の説明
- オンサイト、オフサイト、クラウド、およびハイブリッド環境におけるデータの可用性の効果的な管理
- 目標復旧時間 (RTO) および目標復旧時点 (RPO) 両方への確実な対応
- Veeam Availability Suiteを設定し、データを効果的に保護
- 組織の進化する技術面、ビジネス面、およびデータ保護面での要件への適応
- 効果的で効率的、かつ安全でビジネス要件に準拠した復元の実現
- ビジネスデータ資産の可視化と、パフォーマンスやリスクを監視するためのレポートおよびダッシュボードの提供

内容

はじめに

- RTOとRPOのビジネス上の意味と、それに沿ったパフォーマンスの管理および監視方法の説明
- 3-2-1ルールと、成功するバックアップ戦略の策定におけるその重要性
- Veeam Availability Suiteの主要コンポーネントの特定とその使用シナリオおよび導入の種類の説明

バックアップ機能の構築

- バックアップ方法、適切なユースケース、および基盤となるファイルシステムへの影響
- エージェントやNASのバックアップジョブを含むバックアップジョブの作成、変更、最適化、削除環境のパフォーマンスを最大限に高めるための様々なツールや方法の検討
- インフラストラクチャ上の様々なバックアップ機能の影響を認識しながら、適切な転送モードを選択できるようにすることで効率を確保

レプリケーション機能の構築

- レプリケーションで使用できるオプションの特定と説明、およびこれらの使用による影響
- レプリケーションジョブの作成と変更、および成功するための考慮事項の概要
- 新ポリシーCDP（継続的データ保護）の紹介

セカンダリバックアップ

- シンプルなバックアップコピーのジョブと高度なバックアップコピーのジョブを比較。ベストプラクティスを使用して作成および変更し、効率的な復元を実現する方法
- バックアップにテープを使用することについての議論

高度なリポジトリ機能

- クラウドストレージとの統合を含め、オンプレミスやオフサイトでSOBRなどの機能を利用して、リポジトリの拡張性を確保
- 既存の重複排除アプライアンスによる互換性の確保
- 新しい強化リポジトリの導入

クラウドにあるデータの保護

- Veeamがクラウド・ネイティブ・アプリケーションのデータをどのように保護しているかの確認
- Veeam Cloud Connectが、Veeamに構築されたクラウドサービスをどのように利用可能にしているかの確認
- Veeamを利用して、Office 365のデータを保護する方法の確認

バックアップからのリストア

- VMやベアメタル、ファイルやフォルダなどの個々のコンテンツをリストアするために、自信を持って適切なタイミングで適切なリストアツールを使用できるよう徹底
- Secure Restoreの使用によるマルウェアのリストアの阻止
- リストアを本番環境にリリースする前に、Staged Restoreを使用して一般データ保護規則（GDPR）などの規制に準拠する方法の説明
- 様々な調査およびインスタントリカバリのツールや機能の特定、説明、利用

レプリカからの復元

- フェイルオーバー機能と適切な使用法の詳細な特定と説明
- 復元を確実にするフェイルオーバー計画の作成、準備、およびテスト
- 実世界の様々な復元ニーズに対応するための、レプリカからの災害復旧

バックアップとレプリケーションのテスト

- バックアップとレプリカのテストによる、必要な時に必要なデータの復元の実現
- バックアップ、レプリカ、およびストレージスナップショットに基づく仮想サンドボックス環境の設定およびセットアップ

Veeam Backup Enterprise ManagerとVeeam ONE

- Veeam Backup Enterprise ManagerとVeeam ONE™を使って、仮想、物理、およびクラウド環境を監視するコンセプトを紹介

構成情報のバックアップ

- バックアップ設定の配置、移行、またはリストア